

6 学年題材指導計画

世界の音楽に親しもう（5 時間扱い）

1. 題材のねらい

旋律の特徴や音色、響きの違いなどを感じ取りながら、わが国の伝統的な音楽や世界の音楽に親しむようにする。

楽曲の気分や全体の響きを感じ取って、歌い方や演奏の仕方を工夫することができるようにする。

2. 教材について

(1) 選択教材

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(2)イ, A(3)イ, A(4)ア, B(1)ア

ジャマイカ、朝鮮半島の音楽を取り上げ、そのリズムや旋律、音色、響きなど、それぞれが持っている独特の味わいを感じ取って聞いたり、演奏したりすることで、各国の人々が育てた独自の音楽文化の違いやよさに気付くようにしたい。またアフリカドラム調の簡単なリズムフレーズ作りをさせることで、創作の楽しさを感じ、今までふれたことのない楽器や曲想に親しませたい。

選択：ジャマイカン・ルンバ（A・ベンジャミン作曲、一ノ瀬 義孝 編曲）

軽快なリズムと旋律の流れから開放的な雰囲気を感じることができる楽曲である。自由で創造的な活動を促して、一人一人が主体的に取り組めるようにしたい。多様なリズムの展開や重なりを意識させて、グループごとにいろいろなリズム伴奏を工夫させたり、繰り返しを使って強弱などの工夫で表現したりすることができるようにしたい。

選択：アリラン（アジア音楽研究グループ/朝鮮半島民謡）

朝鮮民謡の持つ情緒的で重厚な曲の雰囲気をもつ楽曲である。曲想を味わわせたり、チャンゴやケンガリなど初めて手にする楽器を用いて、歌唱や楽器の多様な音の重なりや組み合わせを考えさせたりしたい。日本の伝統的な音楽との対比から表現方法や曲想について気付き、自分なりに曲の気分を生かして演奏できるようにさせたい。

選択：Oh ドラムス！（打楽器：児童創作曲）

3拍子を基本としたリズムパターンをもとに、様々な打楽器の音の特徴を生かして、簡単なリズムのフレーズを創作させる活動である。ハンドドラムを用いて、簡単なリズムパターンを基本に楽しく創作させたい。またフレーズに合った簡単な振り付けを考えさせ、身体表現を含めたダイナミックな表現になるよう工夫させたい。

(2) 春の海（宮城道雄作曲）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》B(1)ア

明治から昭和にかけて活躍した箏曲家、宮城道雄が尺八と箏のために作曲した楽曲である。この曲は、宮城が瀬戸内海を旅行した時ののどかな春の海の感じや、かもめが飛び交う様子などを表したといわれている。

尺八と箏という日本の代表的な旋律楽器の響きに接することのできる教材である。まず、尺八と箏の音色に親しみ、これまで鑑賞して来た曲にはない独特の音色や旋律を味わって聴くようにしたい。

(3) 越天楽今様（慈鎮和尚作歌 日本古謡）

《学習指導要領 5・6 学年の内容との関連》A(3)イ, B(1)イ

この今様は雅楽「越天楽」の旋律に歌詞を付けたもので、今に残る日本の最も古い歌謡とされている。歌詞の作者慈鎮は、比叡山延暦寺の高僧で、平安末期から鎌倉時代の頃の人である。こうしたわが国の古い時代の歌であることに気付きながら、この曲を聴いたり歌ったりしたい。

この楽曲では、子供たちが今まで体験したことのない日本古式の楽器が使われている楽器である。それら特有の楽器について知ったり、独特の響きを感じ取ったりできるように学習させたい。この歌のもとになった雅楽「越天楽」の笙の響きを模したパートが付けられているので、鍵盤ハーモニカやオルガン、リコーダーなどで演奏し、雅楽的な雰囲気味わって親しんだり、関心を持ったりするようにしたい。また、これまで歌ってきた長調や短調の歌との曲想の違い、和音の構成の違いによる響きについて気付かせたい。

(4) アジアの音楽 * 音楽発表会児童の部の鑑賞

《学習指導要領5・6学年の内容との関連》B(1)ア

朝鮮半島、インドネシアなどの国々やアイヌ民族の音楽など、アジアの様々な民俗音楽を比較しながら鑑賞する。日本の音楽や西洋の音楽にはない、独特のリズムや旋律などが織りなす音楽表現の美しさを感じ取り、それぞれの音楽の特徴に気付いて聴くようにしたい。また、人々が育てた独自の音楽文化の違いやよさにも気付くようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材 の 評 価 規 準	音楽や音色の特徴、楽曲全体の響きなどに関心を持ち、いろいろな音楽表現に親しもうとしている。	音楽の特徴を生かした楽器を選択し、表現の仕方を工夫している。	奏法や音色、音量のバランスに気を付けて表現している。	日本独特の音楽や外国の音楽の旋律や響き、楽器の音色の特徴を味わって聴いている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 的 評 価	日本古来の音楽、または世界の音楽に興味をもって聴き、音楽の気分を味わおうとしている。 【Aと判断するキーワード】 □日本や世界の楽曲を互いに比較しながら、曲の気分や使われている楽器、表現形態について理解や説明。 楽曲の構成に興味をもち、まとまりの	楽曲の特徴をつかみ、楽器の音色に気を付けて表現の工夫をしている。 【Aと判断するキーワード】 □楽曲の特徴や楽器の音色についての理解。 □楽器の音色を生かした表現の工夫。 音の重なりや響きを感じて、曲想を生かした演奏の工夫をしている。	速さや音量を工夫しながら、楽曲の感じを生かした響き合いのある合奏をしている。 【Aと判断するキーワード】 □曲の感じや表したい音色の特徴が表れた演奏。 □正確な奏法での演奏。 □快く響くための速さや音量、音の重なりに気を付けた演奏。	楽器の音色や重なりから、それぞれの曲の雰囲気や響きを感じて聴くことができる。 【Aと判断するキーワード】 □楽器の音色や重なりによって、曲の雰囲気や響きがどのように感じられるのか、明確に説明。 日本独特の音楽や世界の音楽の特徴を比較しながら、旋

規 準	あるリズム伴奏を つくって表現しよ うとしている。 【Aと判断するキーワード】 □自分の考えを進んでリ ズムに表現。 □曲想や構成に合った速 度や展開を持つリズム 作り。	【Aと判断するキーワード】 □音楽を特徴付けている 諸要素の用語を使って、 効果的な演奏になる工 夫を説明。 □奏法や練習方法への気 付き。 音楽の特徴を生か した楽器を選択し、 楽曲のもつ特徴や よさを工夫して表 現している。 【Aと判断するキーワード】 □楽曲の特徴を生かした 楽器選択と奏法、表現の 工夫。		律やリズム、強弱や 速度、音色、などの 要素がかかりあ って楽曲の雰囲気 を醸し出している ことを感じ取って 聴く。 【Aと判断するキーワード】 □それぞれの国の音楽に つの特徴を把握。 □曲想と音楽を特徴付け ている諸要素の關係に ついて説明。
--------	---	---	--	---

4. 指導と評価の計画(5時間扱い) : 取り扱い項目 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	題材の 評価 規準	指導要領 との 関連	内容のまとめり との関連				評価方法等
				歌 唱	器 楽	創 作	鑑 賞	
1 . 2 . 3	《グループ別学習》 曲の感じをつかみ、情景を想像しながら表現できるようにする。							
	・範奏 CD を聴き、曲の気分や楽器の音色の特徴をつかむ。	ア -	A(1)ア					発表 学習カード
	旋律にリズム伴奏を加え、曲の感じを生かして表現する。							
	・グループごとに楽器を選択し、楽器の音色に気を付けて工夫して演奏する。	イ -	A(3)イ					学習カード
	・旋律楽器だけでなく打楽器を加えて、曲の感じが出るように工夫する。	イ -	A(2)イ					演奏聴取 学習カード
・基本となるリズムの特徴から、簡単なリズムパターンを作る。またそれに合う振り付けを考える(振り付けは「Oh ドラムス」のみ)。	ア -	A(4)ア					行動観察 学習カード	
・曲想を生かした互いの演奏を発表し合いよかった点や課題を確認し合う。	ウ -	A(3)イ					発表 学習カード	

4	春の海 鑑賞用CDで情景を想像しながら聴く。	エ -	B(1)ア					発表 学習カード
	・今まで取り組んできた外国の音楽と比較して、感じたり気付いたりしたことを発表し合う。							
	・今までに学習してきた楽曲との違いに気付く。 越天楽今様 範唱用CDを聴く。	ア -	B(1)イ					発表 学習カード
5	・速度や響き、音色の違いなど気付いたことについて発表する。	イ -	A(3)イ					演奏聴取 学習カード
	・主旋律や和音伴奏に合った楽器を選択して演奏し、独特な響きを味わう。							
5	(音楽発表会 児童の部) 曲想や楽器の音色を感じながら、他学年の発表を聴く。	エ -	B(1)ア					学習カード
	・他学年の発表における、楽曲の気分や全体の雰囲気を感じ取りながら聴く。							
	・自分たちとの演奏との違いを学習カードに記入する。							